

古文ドリル：「ぬ」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） **著作権：**個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「ぬ」の正体（4パターン）

古文の「ぬ」には大きく **4種類** あります。

種類	接続/品詞	例
① 完了の助動詞「ぬ」 終止形	連用形接続	花咲きぬ（咲いた）
② 打消の助動詞「ず」 連体形「ぬ」	未然形接続	花咲かぬ（咲かない）
③ ナ変動詞「往ぬ」「死ぬ」の活用語尾	ナ変動詞	春過ぎて夏来たりぬ／死ぬる人
④ 下二段動詞「寝（ぬ）」の終止形	下二段動詞	静かに寝ぬ（眠る）

識別の鉄則

1. **直前**の語の活用形を見る（連用形→完了 / 未然形→打消）
2. **直後**の語との関係を見る（句点・助詞・体言など）
3. ナ変「死ぬ・往ぬ」、下二段「寝（ぬ）」は語幹そのものに「ぬ」がつく一語動詞
4. **下二段「寝（ぬ）」**は終止形「ぬ」・連体形「ぬる」・已然形「ぬれ」と活用。「寝（ね）」と読み分け、文脈で「眠る」の意味なら下二段

最初の20問はこの4パターンの基礎、後半に進むにつれて「ぬ」の前後にさらに助動詞が絡む応用問題、さらに難関大の実戦問題へとレベルが上がります。

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。
こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① 「ぬ」を見たら 直後 をまず見る

- ・ 直後が **句点（。）**／終止 → **終止形** → 完了「ぬ」終止形（または下二段「寝ぬ」）
- ・ 直後が **体言（名詞）** → **連体形** → 打消「ず」連体形「ぬ」で確定
- ・ 「ぬ」の8割はこれだけで分かれる。

コツ② 「○○ぬ」の○○の母音で打消／完了を即決

- ・ 前がア段（咲かぬ／知らぬ／見えぬ）→ 未然形＋ぬ → **打消「ず」連体形**
- ・ 前がイ段（咲きぬ／知りぬ／見ぬ※エ段含む）→ 連用形＋ぬ → **完了「ぬ」終止形**
- ・ 「ぬ」の前の動詞語尾の母音を見るだけ。考えるな、見ろ。

コツ③ 「死ぬ／往ぬ／寝ぬ」は形を見た瞬間に終了

- ・ 「死ぬ」「往ぬ」→ **ナ変動詞の終止形**（一語）
- ・ 「寝ぬ（いぬ／ぬ）」で「眠る」の意 → **下二段動詞**
- ・ 「往ぬる人」「死ぬる時」は連体形なので注意（「ぬる」の形）。

コツ④ 訳語で最終確認

- ・ 「～してしまった／～た」と訳せる → **完了**
- ・ 「～ない／～ぬ」と訳せる → **打消**
- ・ 一発で訳して通る方が正解。

試験本番でのチェック順序

1. 「死ぬ／往ぬ／寝ぬ」の形か確認（YES → ナ変・下二段で終了）
2. 直後を見る（体言ならほぼ打消連体形）
3. 直前の母音を見る（ア段＝打消、イ段＝完了）
4. 訳で確認

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- ・ 「**見ぬ**人」のような上一段動詞 → 「見」は未然形・連用形同形なので **直後の体言** で打消連体形と判断
- ・ 「**ぬる／ぬれ**」の活用形を完了と思い込む → 完了は終止形「ぬ」だけ。「ぬる」「ぬれ」は完了「ぬ」連体形・已然形 or 下二段「寝」の活用形
- ・ 連用形に上一段や下二段が来ると母音判定が効かない → 訳で打消か完了かを判断

採点表

各セクション末に空欄を残してあります。最後にトータルで「100点満点中何点取れたか」を記録してください。

- ・ 基礎（Q1～Q20）： ／20
- ・ 標準（Q21～Q50）： ／30

- 応用 (Q51～Q80) : /30
- 入試レベル (Q81～Q100) : /20
- 合計 : /100

【第1部】 基礎編 (Q1～Q20)

4パターン (完了・打消・ナ変・下二段「寝」) をただ識別する基本問題。

Q1. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

花咲きぬ。

Q2. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

花咲かぬ夜。

Q3. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雪降りぬ。

Q4. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ人。

Q5. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

夜更けて、人みなぬ。

Q6. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月出でぬ。

Q7. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行かぬ道。

Q8. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

夜更けぬ。

Q9. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

見えぬ山。

Q10. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬる人。

Q11. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

春過ぎて夏来たりぬ。

Q12. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ間に。

Q13. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

帰りて、すなはちぬ。

Q14. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雨止みぬ。

Q15. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

思はぬことを言ふ。

Q16. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

春過ぎて夏来ぬらし。

Q17. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ顔。

Q18. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

春来ぬ。

Q19. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

よくぬる人。

Q20. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行かぬ人。

【第2部】 標準編 (Q21～Q50)

「ぬ」の後に別の助動詞が続くパターン、ナ変動詞、係り結びとの絡み、下二段「寝」の各活用を増やします。

Q21. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

春過ぎて夏来ぬべし。

Q22. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行く春を惜しまぬ人もある。

Q23. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雪降りぬらむ。

Q24. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

やすくぬる夜。

Q25. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

思はぬかたへも。

Q26. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

鳥啼きぬ。月傾きぬ。

Q27. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

君が代の千代に八千代に変はらぬかぎり。

Q28. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬばかりに苦し。

Q29. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ顔して通り過ぐ。

Q30. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

風吹きぬ。波立ちぬ。

Q31. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ世にこそ。

Q32. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月隠れぬ。

Q33. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

言はぬは言ふにいや勝る。

Q34. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

夜深くぬれば、夢のごとし。

Q35. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雪消えぬぎはの山道。

Q36. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行きぬ。

Q37. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬぞ恥なる。

Q38. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

夜明けぬべし。

Q39. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

我が思ふ人は来ぬらむ。

Q40. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

言はぬこそ言ふにまされ。

Q41. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

桜散りぬらむ。

Q42. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬる人。

Q43. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雨やみぬ。

Q44. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ仏よりなじみの鬼。

Q45. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

山深み春とも知らぬ松の戸に絶え絶えかかる雪の玉水。

Q46. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

ねぶたくぬ。

Q47. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

紅葉散らぬ山なし。

Q48. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

我が世過ぎぬ。

Q49. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行く方知らぬ。

Q50. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月見ぬ夜なし。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

ここから、「ぬ」が複合する形（「ぬべし」「ぬらむ」「ぬめり」「なむ」など）と、下二段「寝」のあらゆる活用形、紛らわしい構造を扱います。

Q51. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

あづまの方に住むべき国求めに、とて、行きけり。京には見えぬ鳥なれば…

Q52. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

風吹きぬべし。

Q53. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

名のらぬこそ恥なれ。

Q54. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

あはれ忘れぬ。

Q55. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

過ぎぬべき道。

Q56. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

涙落ちぬばかりなり。

Q57. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

言はぬばかりの顔つき。

Q58. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

涙落ちぬばかり泣く。

Q59. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

来ぬ人を待つ宵の更けゆけば。

Q60. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

来ぬらむと思ふに。

Q61. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

山桜散りぬめり。

Q62. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

思ひもよらぬことを言ふ。

Q63. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

いと安らかにぬる夜なり。

Q64. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬことは恥にあらず。

Q65. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

散りぬべき花。

Q66. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

来ぬ夜は嘆く。

Q67. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬる命の惜しからず。

Q68. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

風吹きぬらし。

Q69. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

言はぬは花のごとし。

Q70. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

散らぬ花なし。

Q71. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

人もえ知らぬ家。

Q72. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月いでぬらむ。

Q73. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

在原業平の歌、忘れぬものを。

Q74. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

春来ぬべし。

Q75. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

夜こと深くぬれば、人皆出でぬ。

Q76. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

浮きたることなく沈みぬ。

Q77. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

飽かぬ別れ。

Q78. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雁鳴きぬ。

Q79. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

桜咲けど香らぬぞ口惜しき。

Q80. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

命終はりぬべし。

【第4部】 入試レベル (Q81～Q100)

実際の入試で頻出する難所を集めました。前後の文脈と助動詞の知識をフル動員。下二段「寝」の応用も含む。

Q81. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

いと思はず**なる**ものを、と思ひて、見**ぬ**やうにて過ぐ。

Q82. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月の明かき夜、はかなく更け**ぬ**。

Q83. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死**ぬ**べくおぼゆ。

Q84. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知ら**ぬ**を恥とせず。

Q85. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

静かに**ぬ**れば、夢に故郷をぞ見る。

Q86. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

来**ぬ**人をまつほの浦の夕なぎに焼くや藻塩の身もこがれつつ。

Q87. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

大将御覧じて、いたく心動きぬべきけしきなり。

Q88. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

御簾の内に思はずなることもあり、心づかぬことも多かり。

Q89. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

ふしぎの仰せを承りぬ。

Q90. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬるほどの病。

Q91. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

いざ給へ、出でなむよ、と急がしたまふに、出でぬ。

Q92. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

心も知らぬ人を頼みけるかな。

Q93. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

鳥啼き、月落ち、夜明けぬべき気色なり。

Q94. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

御帳の内にいたくぬれば、夢のごとし。

Q95. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

命の終はりぬらむさまを思ひやるに。

Q96. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行く方知らぬこそあはれなれ。

Q97. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

過ぎぬべきほどなり。

Q98. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

ふと、思ひも寄らぬ人の文きたり。

Q99. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる。

巻末：復習ルート

ルート①：間違えた問題だけ100問通し 1周目で × がついた問題だけを抜粋して、3日後にもう一度解く。

ルート②：パターン別総復習 - 完了「ぬ」だけ抜粋 → Q1, 3, 6, 8, 11, 14, 16, 18, 23, 26(両), 30(両), 32, 36, 38, 39, 41, 43, 48, 52, 54, 55, 56, 58, 60, 61, 65, 68, 72, 74, 76, 78, 80, 82,

87, 89, 91, 93, 95, 97, 99 - 打消「ず」連体形「ぬ」だけ抜粋 → Q2, 4, 7, 9, 12, 15, 17, 20, 22, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 40, 44, 45, 47, 49, 50, 51, 53, 57, 59, 62, 64, 66, 69, 70, 71, 73, 77, 79, 81, 84, 86, 88, 92, 96, 98 - ナ変動詞「死ぬ」「往ぬ」だけ抜粋 → Q10, 28, 42, 67, 83, 90 - 下二段動詞「寝（ぬ）」だけ抜粋 → Q5, 13, 19, 24, 34, 46, 63, 75, 85, 94, 100

ルート③：間違いやすい複合形を集中暗記 - 「ぬべし」「ぬらむ」「ぬめり」「ぬらし」(完了+推量)
- 「ぬばかり」(強意) - 「ぬれば」(下二段「寝」已然形+ば)

著作権について 本ドリルの著作権は中本裕太（個別指導塾フィット）に帰属します。 個人学習用以外の複製・転載・販売を禁じます。

更新：2026-05-12（試作第2版：下二段「寝」追加） 作成：Claude + 中本裕太